

競争入札経過調書（総合評価落札方式(除算方式)）

件 名 宮崎空港誘導路燈改良その他工事

開 札 年 月 日 令和4年5月31日 （落札決定日 令和4年6月15日 ）

入札執行官署 大阪航空局

落 札 金 額 ￥ 28,600,000 -

落 札 者 株式会社明光社

予 定 価 格 ￥ 33,748,000 -

積 算 額 ￥ 33,748,000 - 入札書比較価格（予定価格の100/110） ￥ 30,680,000 -

調査基準価格 ￥ 31,042,000 - 調査基準価格の100/110 ￥ 28,220,000 -

基準評価値 325.945

低入札価格調査実施済 第1回目落札

入札参加者	評価点 (満点122点)	第1回入札			第2回入札			摘 要
		入札金額	評 価 値	評 価 値 ≥ 基準評価値	入札金額	評 価 値	評 価 値 ≥ 基準評価値	
株式会社明光社	113.5	26,000,000	436.538	○				落札

※ 入札金額は入札者が見積もった契約希望金額の110分の100に相当する金額である。  
 ※ 予定価格（入札書比較価格）の範囲内の入札金額であり、評価値の最も高い者を落札者とする（なお、その範囲に満たない入札金額の場合は、各点数を表示しない。）。  
 ※ 評価値は、評価点を各回入札の入札金額（億単位換算）で除して算出する（小数点以下第3位まで表示）。  
 ※ 落札決定に当たっては、入札書に記載された金額に当該金額の10%に相当する額を加算した金額（1円未満の端数は切り捨て。）をもって落札金額とする。  
 ※本件は、予算決算及び会計令86条第1項の規定に基づく調査を実施し、令和4年6月15日に落札者を決定した。



工事名 : 宮崎空港誘導路灯改良その他工事

大阪航空局

調査を実施した業者名、住所 : 株式会社明光社

項 目	内 容
1. その価格により入札した理由	航空局作成の参考数量書に沿って資材単価及び外注の見積書を徴収し、自社労務費及び経費等を考慮した結果の金額としている。共通仮設費、現場管理費及び一般管理費は、直接工事費に自社規定掛率をかけて算出している。過去の実績により、この算出方法でまかなえることを確認している。 また、過去に宮崎空港での同種工事を通じて経験したものを活かし、積算を行い、安全に工事を行うことができる価格となっている。
2. 契約対象工事附近における手持工事の状況	配置を予定している主任技術者の手持ち工事の状況を確認したところ、作業員として従事している手持ち工事が1件あるが、手持ち工事へは追加の人員を配置し、配置予定の主任技術者は本工事へ専任で配置することとしていることから、適正であると思料される。
3. 契約対象工事に関連する手持工事の状況	配置を予定している主任技術者の手持ち工事の状況を確認したところ、作業員として従事している手持ち工事が1件あるが、手持ち工事へは追加の人員を配置し、配置予定の主任技術者は本工事へ専任で配置することとしていることから、適正であると思料される。
4. 契約対象工事箇所と入札者の事業所、倉庫等との関連(地理的条件)	当該工事場所である宮崎空港は調査対象者の本社が近隣に位置するため、資機材運搬・管理面において経費の節減が可能で、緊急時の対応及び安全管理に優位性があることを確認できた。
5. 手持資材の状況	手持資材はなく、今回工事において調達することとしている。
6. 資材購入先及び購入先と入札者との関係	永年にわたり取引がある業者と取引が可能であることを提出資料により確認できた。
7. 手持機械数の状況	当該工事で使用使用する発電機、水中ポンプ、舗装カッター、ボーリング機等を自社で保有しており、損料計上が優位であることを提出資料により確認できた。
8. 労務者の具体的供給見通し	①労務者について、確保計画及び配置予定によって適切な施工が可能かを確認する。 ②労務者について、自社の者を従事させることとなる場合には、名簿の提出を求め、雇用関係の確認は健康保険証等の写しにより確認する。 電気工事について、すべて自社のものを従事させるとしており、雇用関係は健康保険証の写し、施工等に必要な資格は資格者証等にて確認したほか、土工事、切削工事、樹脂工事、測量については協力会社である下請業者が行うこととしており、各工種別に労務者を適切に配置する予定であることを確認できた。
9. 過去に施工した公共工事名及び発注者	①宮崎空港SP4誘導路中心線灯改良その他工事(大阪航空局) ②宮崎空港停止線灯設置その他工事(大阪航空局) 他9件
10. 経営内容	財務諸表の数値から見て履行がなされないという状況は見られない。
11. 1から10までの事情聴取した結果についての調査検討	本件において、配置予定技術者及び過去の公共工事の施工状況から施工面について問題があるとはいえないことなどから、契約の内容に適合した履行がなされないおそれがあるとは認められなかった。
12. 9の公共工事の成績の状況	過去に施工した公共工事を確認したところ、平成27年度～令和3年度において、電気設備工事として、国土交通省11件の施工実績があり、工事成績評価は平均75.4点であり、適切な施工が行われているものと思料される。 また、調査基準価格を下回る価格で受注した工事が無いことを確認した。
13. 経営状況	非公表
14. 信用状態	①建設業法違反の有無 なし ②賃金不払いの状況 なし ③下請け代金の支払遅延状況 なし ④その他
15. その他必要な事項	